



おかむら通信 247 号

令和 7 年 11 月号

♡ご挨拶と御説明

GP についてもう一回、みなさんにお話します。日本の大学病院などにおける総合診療は、まだまだ世界においていないようです。最近 産婦人科医療も加わりました。その治療範囲は徐々に広範囲になっていくようですが、私の信条は各専門医が自分の専門に加うるに総合診療ができるようになることです。どの国の医師も、他科の医療をしているわけではありません。しかし常に高みを目指して、いつまでも医師たちは勉強をつづけていただきたい。

全国で病院・診療所の 7 割が赤字に泣いてます、当院も同様です。この国の政治が招いていることです。私の知る限りでは、ほとんどの医師たちは、必死に働いています。岡村胃腸科外科は、減収になろうとも、患者様に必要な医療はやめません。

☺ 今月の言葉

弱い立場の方々を思いやる政治をお願いします。もし彼らをいじめたりするようなことがあったら、必ずや神様の裁きを受けるでしょう。

(院長は特に特定の宗教を信じているわけではありませんが)

院長より

- ①私の体重は 16 kg 減りました、高血圧の薬は全くいらなくなり、平時 100/ 以上上がらなくなりました。無呼吸症候群もよくなっていました。
- ②しかし術後から血糖が上がり始め、先月 HbA1C は 8.9
糖尿病治療も始めました、体重は戻りません。
- ③自分の仕事においてまずある出来事が起こったら、まず駆けつけろ、そしてその現場をみよ。英語で First to go, Second to know。最近のマスコミ、メディアの報道内容から見て、まず、現場へ行って自分の目で確かめ、外部の圧力に屈することなく、報道してほしいと思います。
- ④本当にこの日本国内において Fake news が多すぎます。外国の友人からたびたび聞くことです。
- ⑤最近アジアへ行って感じることは、弱い人への深い愛情を、差別意識のなさ、親切心を感じる。
- ⑥当院は、いつも先端の医療をめざして、海外での医療の進歩を見にいってま
す。心からの医療、そばにいてあげる医療、また実際の麻酔・手術の進歩。実
際に韓国で友人の手術の優秀さびっくりしました。





⑩がん疾患の発見とともに大病院へ紹介する機会も増えてきました。また病院からの逆紹介も増えつつあります。

⑪院長は数年前から、とくに脈診を大切にしています。いまでは患者さんの病態、精神状態、最近何が起こったかなど大体見当がつきます。13項目くらいです。

●< ここ1～2年で当院が改良したこと >

あえて、クリニックの内部の改良、患者さんがより快適に過ごしやすいように

- 1 自動精算機導入
- 2 屋根の改良、外壁の改良、床の改良
- 3 CT室XP室の照明改良、玄関の照明改良
- 4 胃内視鏡ファイバー、大腸ファイバー追加導入
- 5 最先端のCT (AI導入)、最先端の超音波装置 (AI導入)、胸部XP装置 (AI導入)
- 6 電子カルテ改良 (SECOMsystem 新式に改良)
- 7 院内外に監視カメラ設置
- 8 院内トイレ (パナソニック便器) 新式に
- 9 トイレ内に、患者さん用に急変を知らせるボタンを設置 2か所
- 10 莫大な数の画像保存システム検討中

●< 院長の10月の院内外の活動報告 >

/09 (木) 新東京病院 外科 I先生

/17 (金) 松戸市医師会胃内視鏡講演会 (義務出席)

ジムでプールと温泉と本屋

/20 (月) 院内カンファレンス；今後の当院の体制、

全国医療環境の変化に対し

/23 (木) 待合室の照明の改良工事

/24 (金) ジムでプールと温泉と本屋

/26 (日) XP室、操作室の天井照明の改良工事

/28 (火) フィリピン・ネグロス島のマニラ、デユマゲッテでの支援・視察
について準備、細部の計画を練る

/31 (金) ジムでプールと温泉と本屋

急に寒くなりました

お風呂やおでんが恋しい季節です
寒さに負けず元気に過ごしたいです。

島津

